

2021

豊橋市景観資源ガイドマップ

景観資源を大切にし、地域らしさに磨きをかけよう



目 次

豊橋の景観	3
はじめに	7
1. ガイドマップの目的と位置づけ	8
2. 景観資源とは	9
3. 本ガイドマップの使い方	9
景観資源の位置と解説	11
A 東部丘陵周辺	12
B 豊川沿川周辺	29
C 三河湾沿岸周辺	36
D 市街地周辺	43
D-1 豊橋駅周辺	53
D-2 二川宿周辺	65
E 南部田園周辺	71
F 表浜沿岸周辺	80

※表紙写真：豊橋市公会堂

Landscapes of Toyohashi

豊橋の景観



Landscapes of Toyohashi

豊橋の景観



◆ 水と緑に包まれ、人と自然が調和した美しいまち とよはし

No.	名 称	No.	名 称
S1	広大な柿畑	S37	タカ類
S2	ニホンイノシシ	S38	みかん山
S3	カタクリ山	S39	立岩
S4	富士山の眺め	S40	ホンドタヌキ
S5	モミ群落	S41	岩屋緑地
S6	里山の集落（石巻中山町など）	S42	岩屋観音
S7	馬越長火塚古墳群（国指定史跡）	S43	浜名湖の眺め
S8	ニホンリス	K1	賀茂神社（本殿：県指定有形文化財）
S9	本坂道（姫街道）の宿場町「嵩山宿」	K2	賀茂しょうぶ園
S10	正宗寺	K3	鶴巻の集落（高い槇の生垣の家並み）
S11	長楽のヒノキ（市指定天然記念物）・ クロガネモチ・しょうべん地蔵	K4	豊川・河畔林
S12	ゲンジボタル（長彦川）	K5	牛川の渡し
S13	石巻神社：本社	K6	下地緑地（金色島）
S14	嵩山蛇穴（国指定史跡）	K7	アオサギ
S15	石巻神社：山上社	K8	祇園祭の打上花火大会
S16	玉泉寺のナギ（市指定天然記念物）	K9	豊川放水路
S17	石巻山	K10	東海道新幹線
S18	ダイダラボッチ	M1	旧漁村集落（梅敷町）
S19	ニホンノウサギ	M2	前芝の燈明台（県指定史跡）
S20	イヌツゲ群生林	M3	旧前芝湊・旧漁村集落（前芝町）
S21	三ツ口池	M4	六条湯
S22	サンコウチョウ	M5	スナメリ
S23	赤岩寺	M6	護岸観音（三十三観音）
S24	多米の不動滝	M7	日本丸・海王丸
S25	豊橋自然歩道	M8	豊橋総合スポーツ公園
S26	多米の道祖神	M9	三河湾・三河港
S27	ゲンジボタル（内山川）	M10	神野新田の広がりある水田
S28	鞍掛神社	M11	遊水地・カモ類など
S29	神石山	M12	三河港：豊橋コンテナターミナル
S30	里山の集落（岩崎町など）	M13	三河港：大型船と自動車並びの景観
S31	葦毛湿原（国指定天然記念物）	M14	ライフポートとよはし
S32	ため池群（宮前池・利兵池など）	M15	造船所など大型工場が立地する明海 地区
S33	普門寺の大スギ（市指定天然記念物）	M16	明海緩衝緑地
S34	普門寺	M17	汐川干潟・シギ類、チドリ類など
S35	コゲラ	M18	旧漁村集落（杉山町天津など）
S36	アサギマダラ		

No.	名 称	No.	名 称
A1	瓜郷遺跡（国指定史跡）	A35	二川駅
A2	豊橋創造大学	A36	桜並木（梅田川）
A3	吉田城址（鉄櫓）・豊橋公園	N1	一里山の一里塚（市指定史跡）
A4	吉田神社・祇園祭の手筒花火	N2	豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）
A5	湊築島弁天社（国登録有形文化財）	N3	梅田川
A6	豊橋ハリストス正教会聖使徒福音者馬太聖堂（国指定重要有形文化財）	N4	天伯湿地
A7	安久美神戸神明社（国登録有形文化財）・鬼祭（国指定重要無形民俗文化財）	N5	野依八幡社のシダレザクラ（市指定天然記念物）
A8	豊橋市公会堂（国登録有形文化財）	N6	豊橋技術科学大学
A9	吉田宿本陣跡	農の景 N7	道の駅とよはし
A10	蒲郡街道（国道23号）のケヤキ並木	N8	広大な畑地（キャベツ畑など）
A11	こども未来館（ここにこ）	N9	田園を走る豊橋鉄道渥美線
A12	羽田八幡宮	N10	しあわせ地蔵
A13	朝市（羽田八幡宮境内）	N11	万場緑地・万場調整池
A14	路面電車（ほつらム）	N12	豊川用水路
A15	くすの木通りのクスノキ並木	N13	龍源院のお葉つきイチョウ（県指定天然記念物）
A16	龍拈寺山門（市指定有形文化財）	N14	河岸段丘崖の斜面林
A17	路面電車が走る駅前大通り	N15	真田神社：真田祭（大根流し）
A18	豊橋駅東口駅前広場	N16	茶畑の丘
A19	豊橋駅	N17	ヒバリ
A20	民俗資料収蔵室：旧多米小学校（国登録有形文化財）	海の景 U1	太平洋（遠州灘）・水平線の眺め
A21	朝倉川	U2	表浜海岸：砂浜・漁港
A22	市内電車赤岩口車庫	U3	東観音寺（多宝塔：国指定重要有形文化財）
A23	岩田運動公園	U4	地引網
A24	向山緑地：向山大池	U5	海岸林
A25	向山緑地：梅林園・さくら広場	U6	サーフポイントの海岸
A26	穂の国とよはし芸術劇場（プラット）	U7	アカウミガメ（産卵地）
A27	牟呂八幡宮	U8	ハマヒルガオ
A28	東三河環状線のクスノキ等の並木	U9	海岸林に包まれた集落（高塚町など）
A29	柳生川	U10	ささゆりの里
A30	愛知大学・旧本館（国登録有形文化財）	U11	海食崖
A31	高師緑地		
A32	幸公園：長三池		
A33	河岸段丘崖の斜面林		
A34	東海道の宿場町「二川宿」		

まちの景

はじめに

1. ガイドマップの目的と位置づけ

(1) 目的

豊橋市は、2021年4月に景観法に基づく景観計画を策定しました。この計画では、基本理念を「ともに育む 豊橋らしい こちよい景観」とし、基本方針を「地域の成り立ちや景観資源を大切に、地域らしい景観に磨きをかける」と定めています。また、建築行為等に対する景観配慮指針や景観形成基準（景観法に基づく行為の制限）を定め、景観資源との位置関係に応じて適切な配慮を行うことを示しています。

この景観計画に沿って良好な景観づくりを進めていくには、まず、本市の景観資源を知っていただき、皆で共有し、将来に亘って大切にすることが望まれます。そこで、本ガイドマップで本市の多様な景観資源を紹介することにしました。

景観づくりに取り組む際に本ガイドマップを活用していただき、豊橋らしくこちよい景観を共に育んでいきましょう。

なお、本ガイドマップは現時点の主な景観資源を紹介したものです。随時、掲載する資源を追加するとともに、状況の変化に応じて内容を修正していきます。

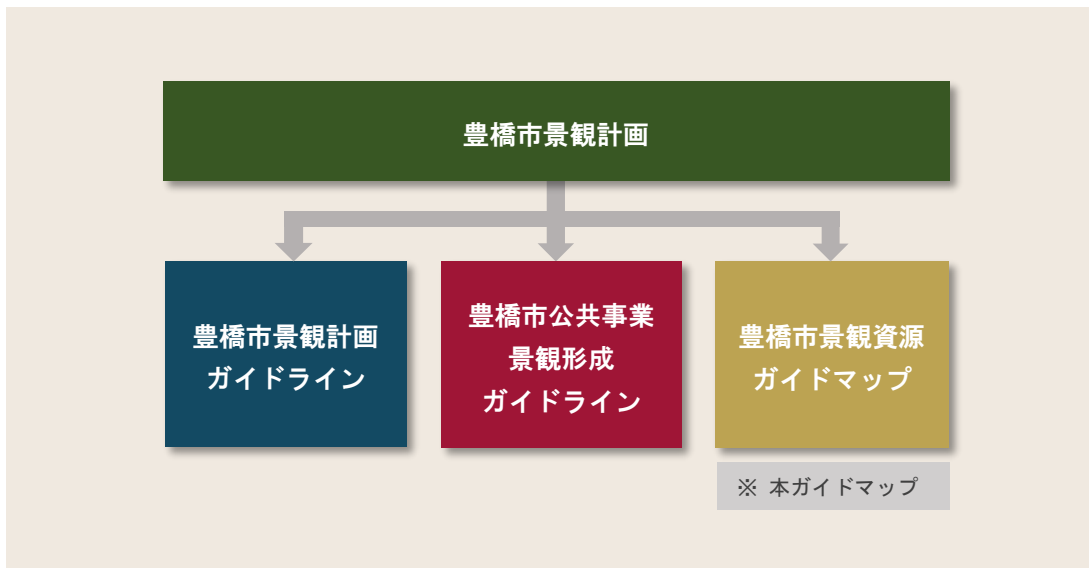
(2) 位置づけ

景観計画を補完する図書として、「豊橋市景観計画ガイドライン」、「豊橋市公共事業景観形成ガイドライン」及び「豊橋市景観資源ガイドマップ（本ガイドマップ）」があります。建築行為等の計画・設計、景観づくりの取り組みを検討する際などに、景観計画とともにこれらをあわせて活用してください。

景観計画では、一定規模を超える建築行為等に対して、豊橋市まちづくり景観条例に基づく事前協議（国又は地方公共団体は任意の事前相談）と、景観法に基づく届出（国又は地方公共団体は通知）が必要となります。こうした手続きにおいて、本ガイドマップを活用しながら景観資源を確認し、良好な景観形成に向けた協議や基準への適合の判断を行います。

また、本ガイドマップは、事前協議や届出等の対象にならない規模の建築行為等に対しても活用していただけるとともに、本市の景観を知っていただく参考書にもなりますので、様々な場面で活用してください。

■ 図 本ガイドマップの位置づけ



2. 景観資源とは

景観資源は、豊橋らしさを構成する重要な要素で、地域の特徴を理解する手掛かりとなります。

山並みや田園といった、一定のまとまりをもった比較的大きなものもあれば、道端の地蔵や住宅の生垣といった小さなものまで、様々なスケールの景観資源が存在します。

まちの歴史や民話など直接的に目には見えない要素も、実際の景観からそれらを私たちが感じとる点で、重要な景観資源となります。さらに、祭りの日にのみ現れる山車の巡行など伝統に基づく祭りの行事や、季節や時代とともに変化する眺めなど変遷していく様も、重要な景観資源です。

3. 本ガイドマップの使い方

景観計画では、市内を大きく6つの地域に区分し、地域別の方針を示しています。そこで、本ガイドマップにおいても、6つの地域に準じて景観資源を紹介しています。

建築行為等に係る設計士や建築主の方々は、計画や設計、手続きの際に、まず、本ガイドマップ等で敷地周辺にある景観資源の概要を確認し、必要に応じて文献等からより詳しい情報を把握してください。また、現地において敷地と景観資源の眺めを確認し、建築行為等による影響や景観配慮の方法を考えてください。

■ 景観資源マップ Key Plan

